

第5節 中東

1. GDP の動向

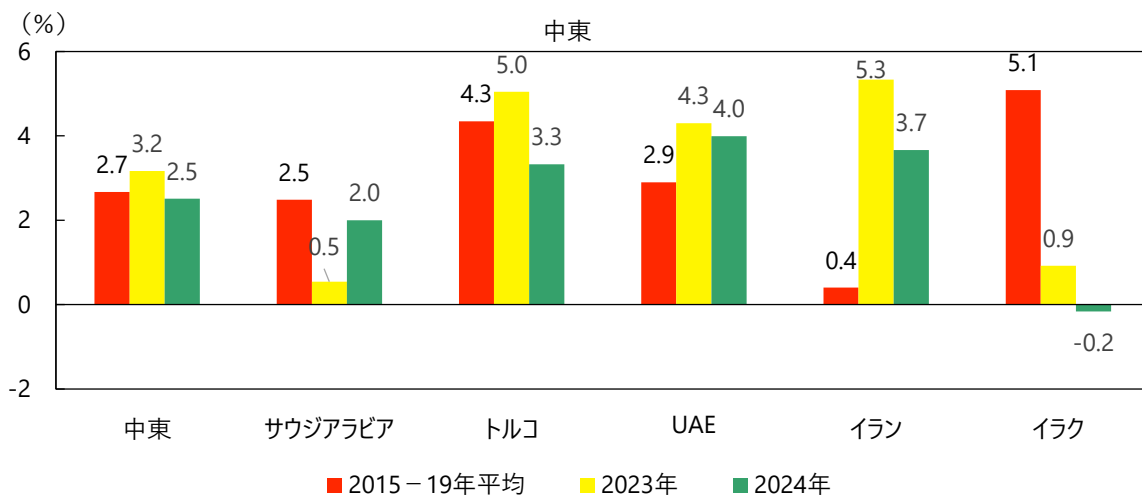
第 1-3-5-1 図は中東地域の国々の実質 GDP 成長率を示している。個別に見ると、トルコや UAE はおおむね 3～5%程度の成長を記録している。その他の国は変動が見られ、イラクは 2024 年にマイナス成長となっている。イランは、2015 から 2019 年平均は 0.4%であったが、2023 年、2024 年はそれぞれ 4～5%程度であった。

第 1-3-5-2 図は IMF による実質 GDP の成長予測を示している。どの国も成長が予想されているが、特に UAE の成長率が高い。

第 1-3-5-3 図は一人当たり GDP について示している。この図によると、UAE が最も一人当たり GDP が高く、次いでサウジアラビアが高い。一人当たり GDP の伸びについては、UAE は 2000 年と比較して低下しているが、サウジアラビアやトルコなどは上昇傾向にある。

以上のことから、中東地域の国々の足下の状況については差があるものの、今後の見通しについてはおおむね各国が順調に成長することが予想されている。

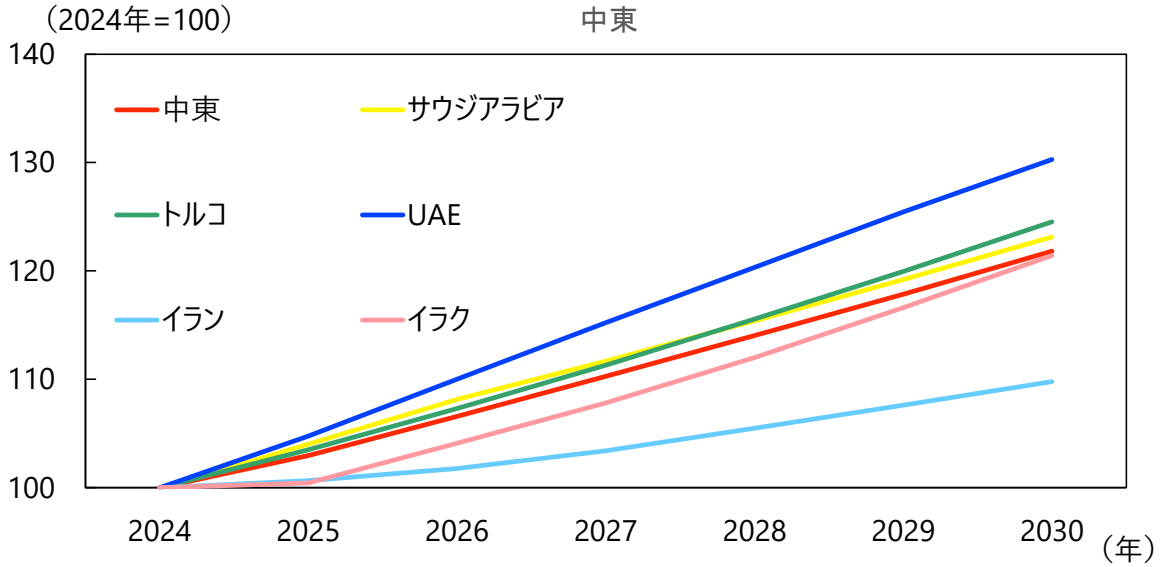
第 1-3-5-1 図 中東の実質 GDP 成長率



備考：「中東」については本章で定義した地域区分の国及び地域について IMF「WEO」の各国 GDP 成長率から GDP (PPP ベース)でウェイト付けした上で推計。IMF「WEO」(2025 年 10 月)のデータ制約により、UAE の実績は 2023 年までであり、2024 年は推計値。

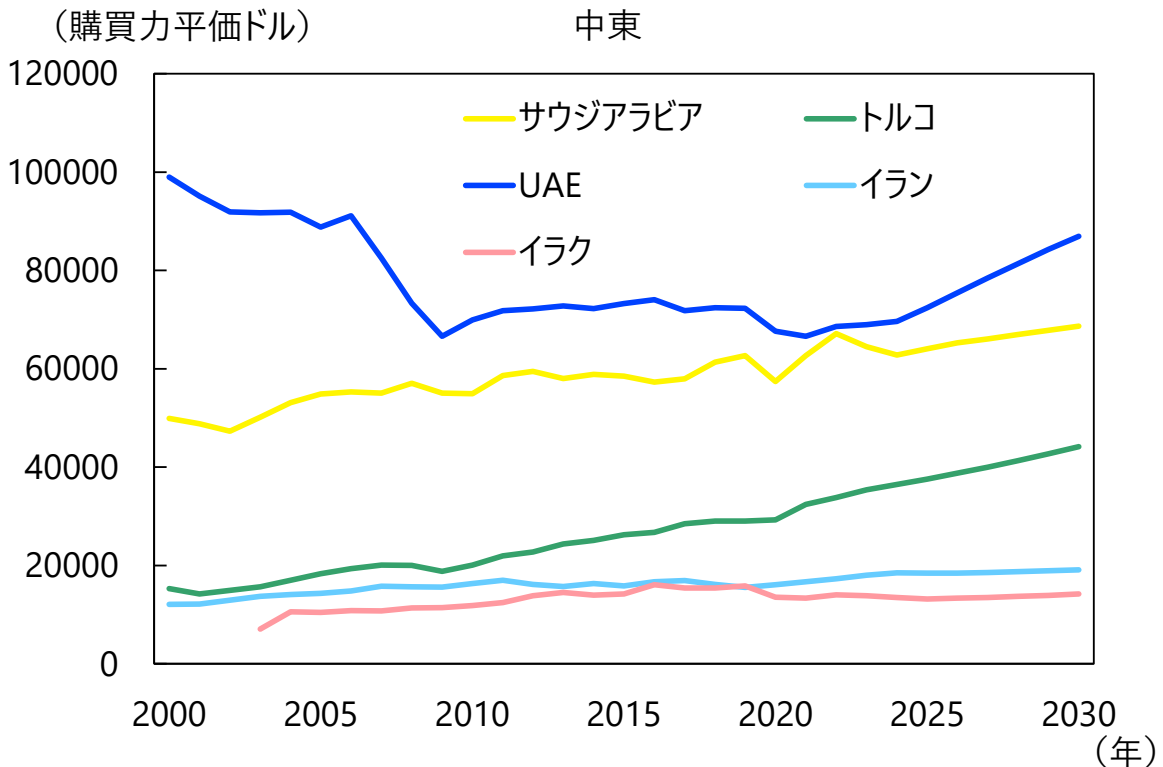
資料：IMF「WEO」(2025 年 10 月)から作成。

第1-3-5-2 図 中東の実質 GDP 予測



備考：「中東」については本章で定義した地域区分の国及び地域について IMF 「WEO」(2025 年 10 月)の各国 GDP 成長率から GDP (PPP ベース)でウェイト付けした上で推計。
資料：IMF 「WEO」(2025 年 10 月)から作成。

第1-3-5-3 図 中東の一人当たり GDP



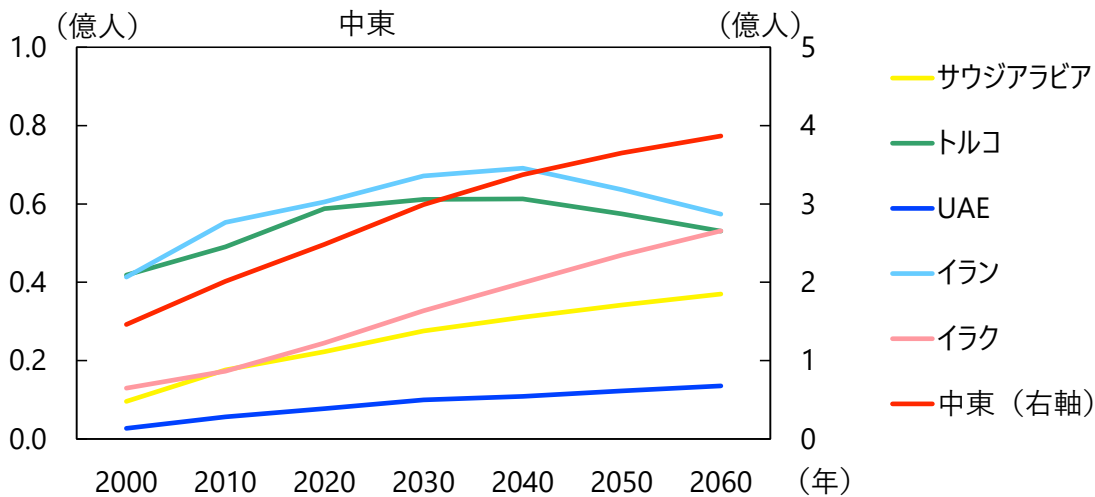
備考：IMF 「WEO」(2025 年 10 月)のデータ制約により、UAE の実績は 2023 年までであり、2024 年以降は推計値。それ以外の国は 2024 年までが実績値であり、2025 年以降は予測値。イラクは 2002 年までデータなし。2026 年 1 月 29 日時点データ。

資料：IMF 「WEO」(2025 年 10 月)から作成。

2. 人口の動向

第 1-3-5-4 図は中東の生産年齢人口を示している。中東全体の生産年齢人口については今後も増加傾向にあることが予測されているが、各国ごとの見通しについては差違がある。具体的には、トルコやイランは生産年齢人口が 2030 年から 2040 年頃をピークに増加し、その後減少していくことが予測されている。他方、イラクやサウジアラビア、UAE は増加傾向が見込まれている。合計特殊出生率の動向と見通しについては、上記の地域と同様に、いずれの国も低下傾向にある（第 1-3-5-5 図）。

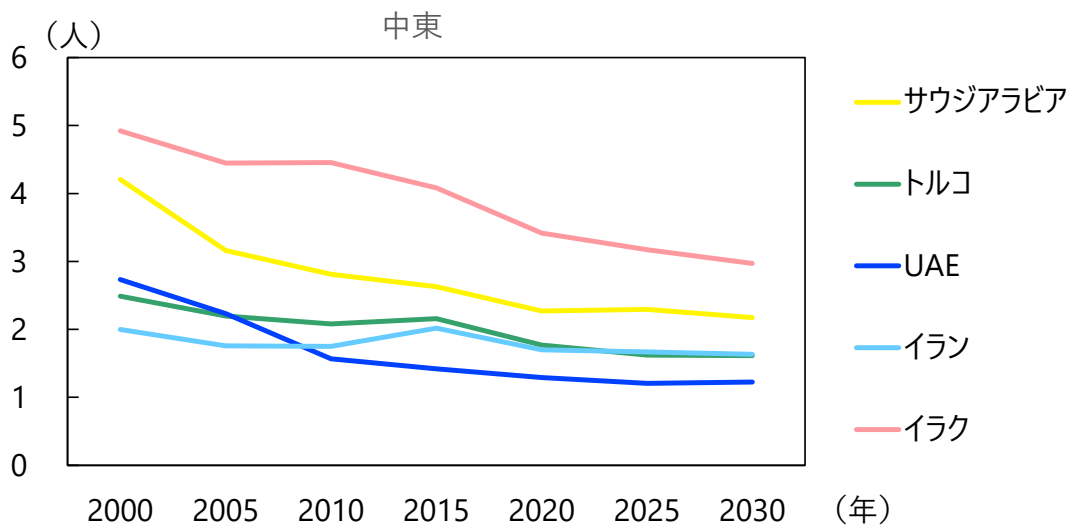
第 1-3-5-4 図 中東の生産年齢人口



備考：「中東」については本章で定義した地域区分の国及び地域一覧を合算し推計。本データは中位推計。当該期間は予測期間を含む。

資料：国連「World Population Prospects 2024」から作成。

第 1-3-5-5 図 中東の合計特殊出生率



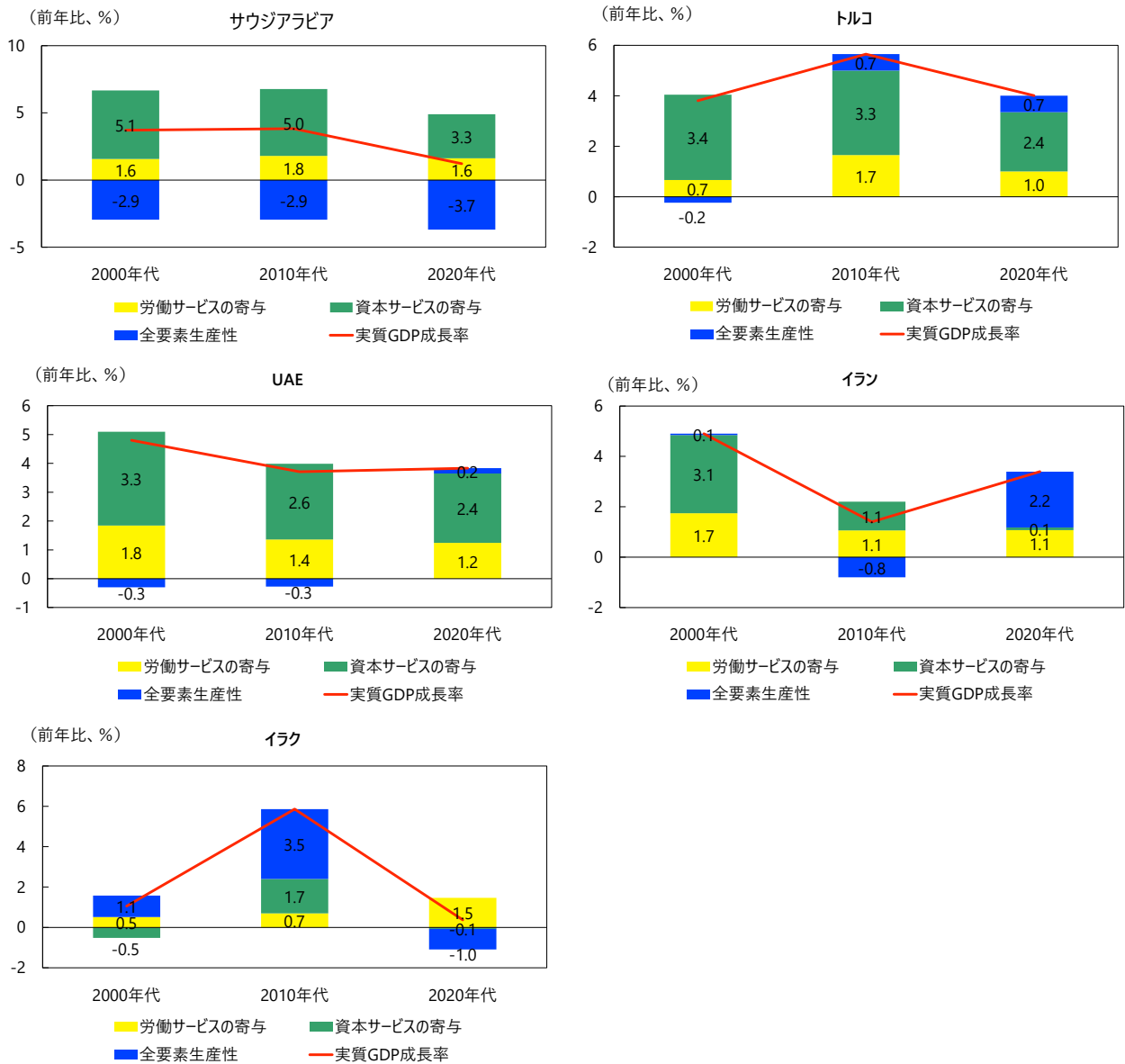
備考：本データは中位推計。当該期間は予測期間を含む。

資料：国連「World Population Prospects 2024」から作成。

3. 成長会計

第1-3-5-6図は各国の成長会計を示している。サウジアラビアやトルコ、UAEは資本の寄与が大きい。他方、イランは、2020年代は生産性の向上の寄与が大きい。前項のとおり、人口の増加の伸びが顕著なイラクは、2020年代は労働が寄与しており、生産性はマイナスに寄与している。

第1-3-5-6図 中東の成長会計



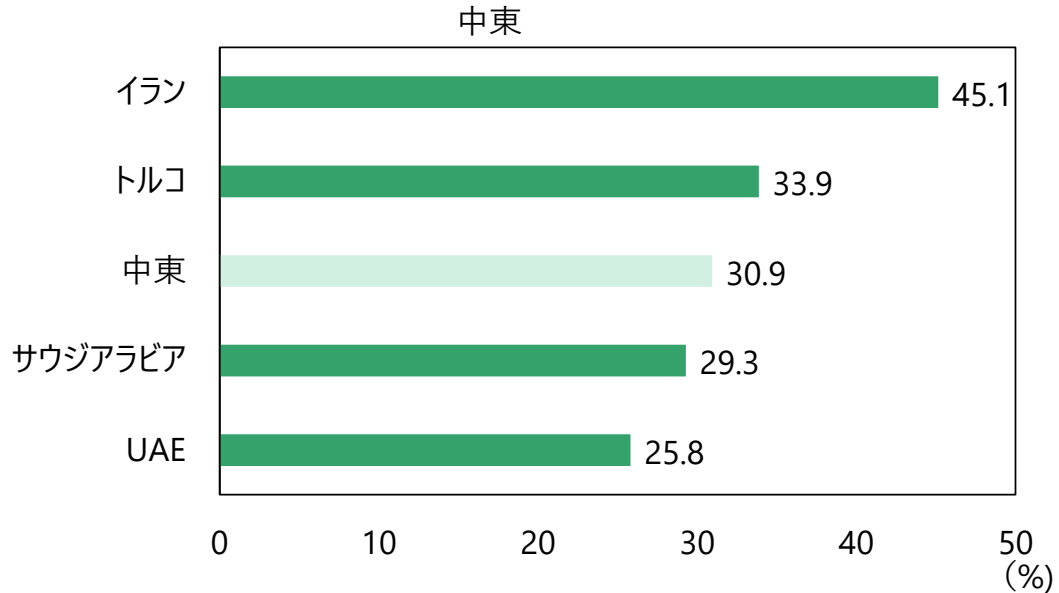
備考：2020年代は2023～2025年のデータを指す。2020年～2022年はコロナの影響を踏まえ推計から除いている。
資料：コンファレンスボードから作成。

4. 資本形成

第1-3-5-7図は中東の総資本形成比率を示している。第1-3-5-7図によれば、イランの総資本形成比率は同地域内で突出して高く、45.1%を占めている。ただし、総資本形成比率のうち在庫変動の割合が高いことに留意が必要である。

第1-3-5-8図は対内FDIの推移を示している。近年、UAEへの対内FDIが増加傾向にあることが分かる。また、2020年代を見ると、サウジアラビアへの対内FDIも他の国と比較して多い。

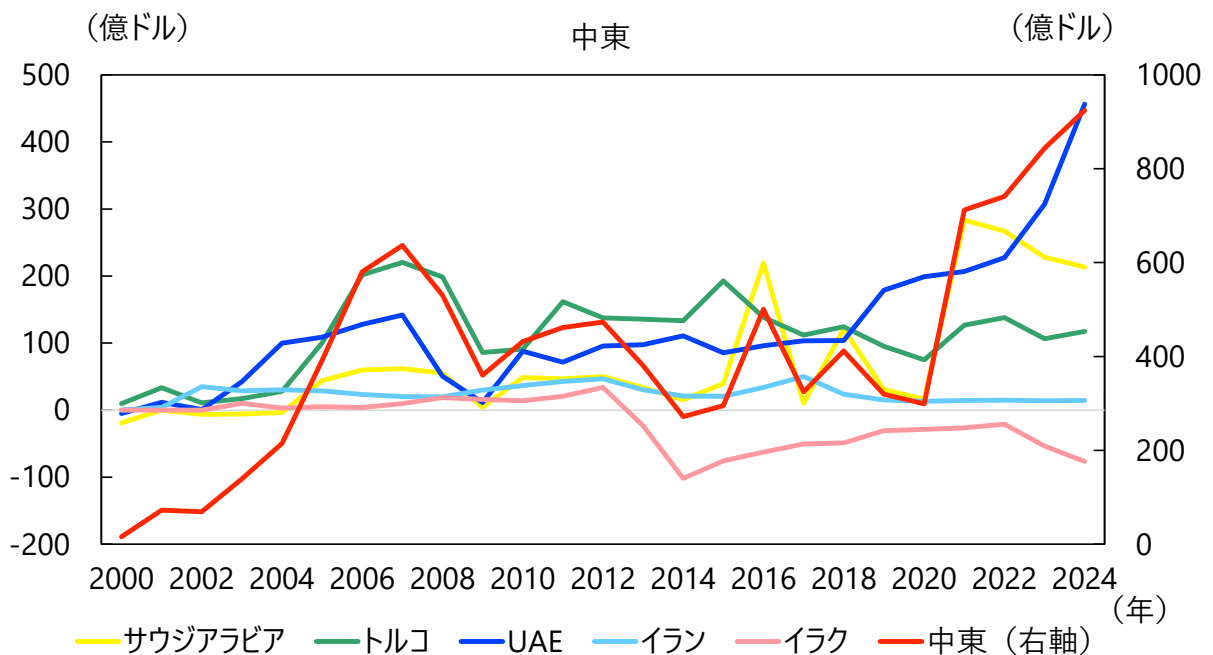
第1-3-5-7図 中東の総資本形成比率



備考：「中東」については、IMF「WEO」（2025年10月）の総資本形成比率から名目GDPでウェイト付けした上で推計。2022-2025年平均の値。IMF「WEO」（2025年10月）のデータ制約により、UAEの実績は2023年までであり、2024年以降は推計値。それ以外の国は2024年までが実績値であり、2025年以降は予測値。イラクはデータ欠損。

資料：IMF「WEO」（2025年10月）から作成。

第1-3-5-8図 中東の対内FDI



資料：世界銀行から作成。

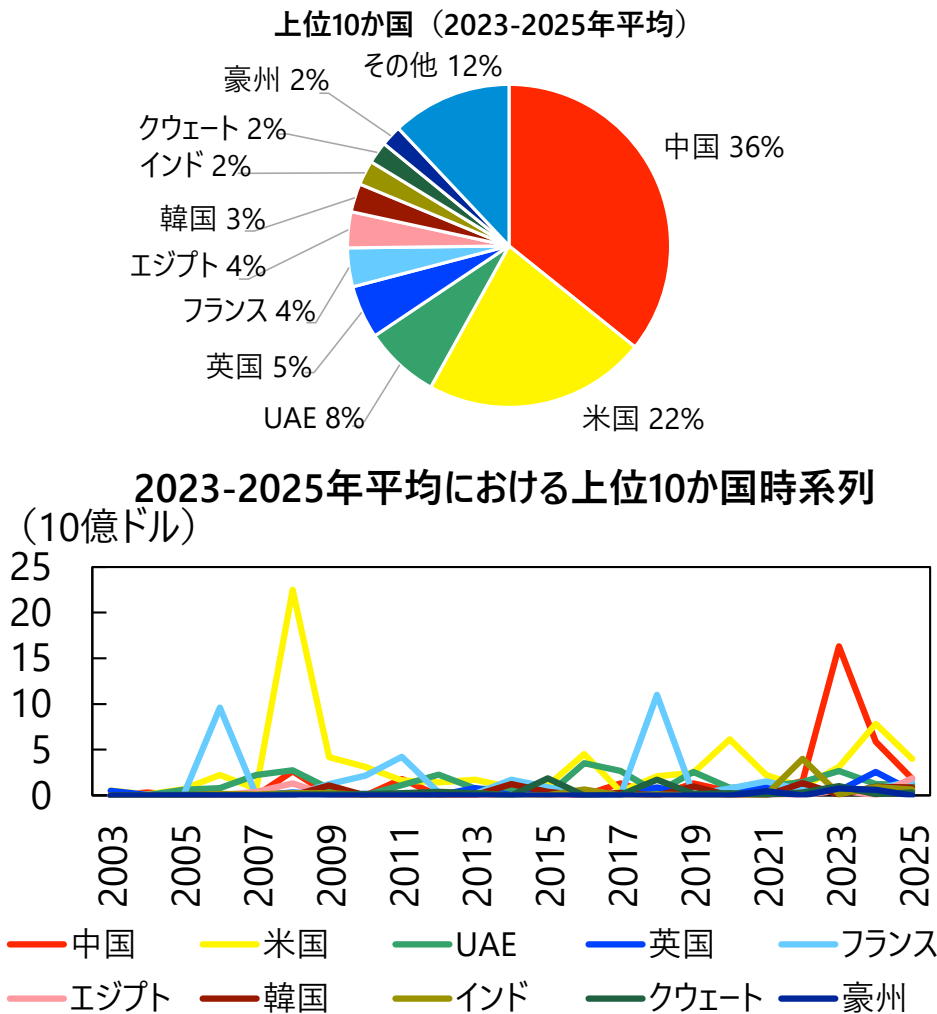
5. グリーンフィールド FDI

本項では fDi Markets のデータを用いて、サウジアラビア、トルコ、UAE のグリーンフィールド FDI の状況について確認する。

(1) サウジアラビア

2023 年～2025 年平均でサウジアラビア向け FDI の上位 10 か国について見ると 1 位は中国、2 位は米国、3 位は UAE であった（第 1-3-5-9 図）。

第 1-3-5-9 図 サウジアラビアの対内 FDI 上位 10 か国

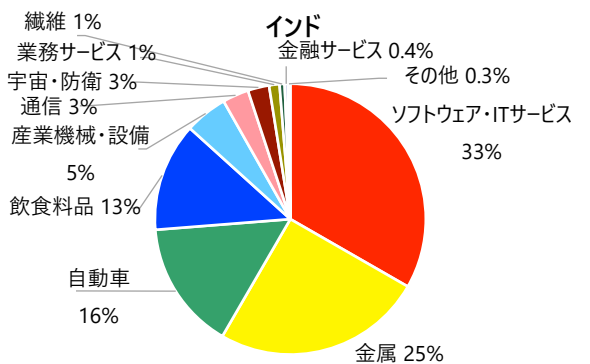
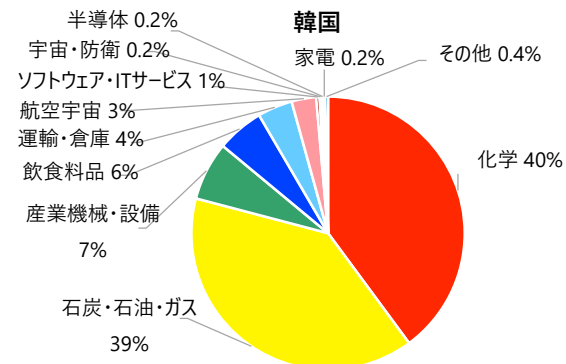
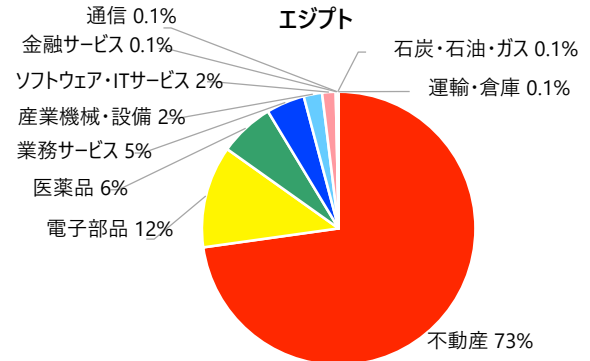
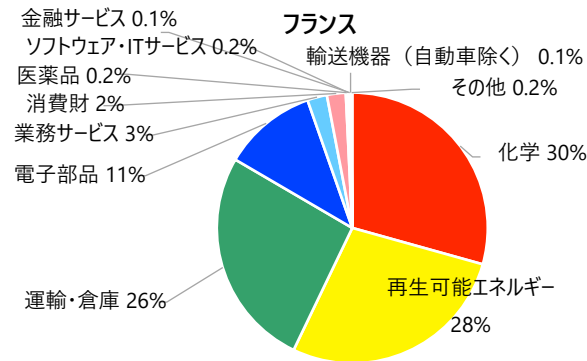
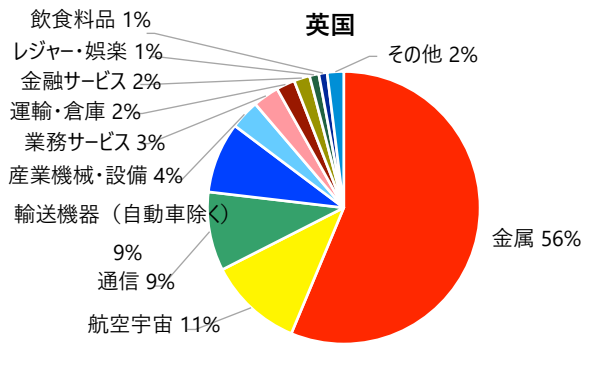
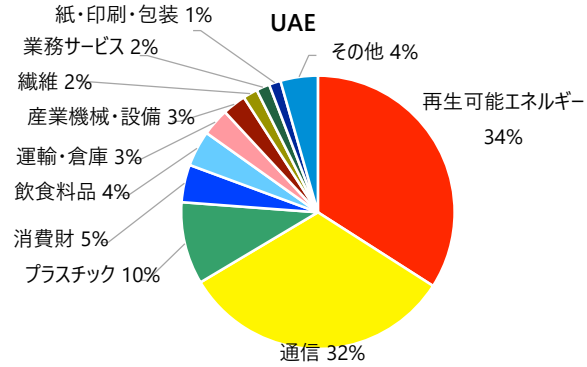
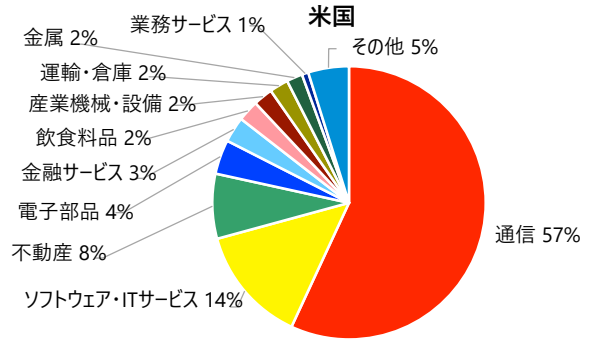
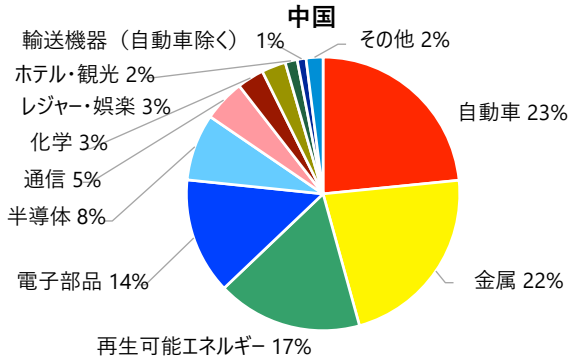


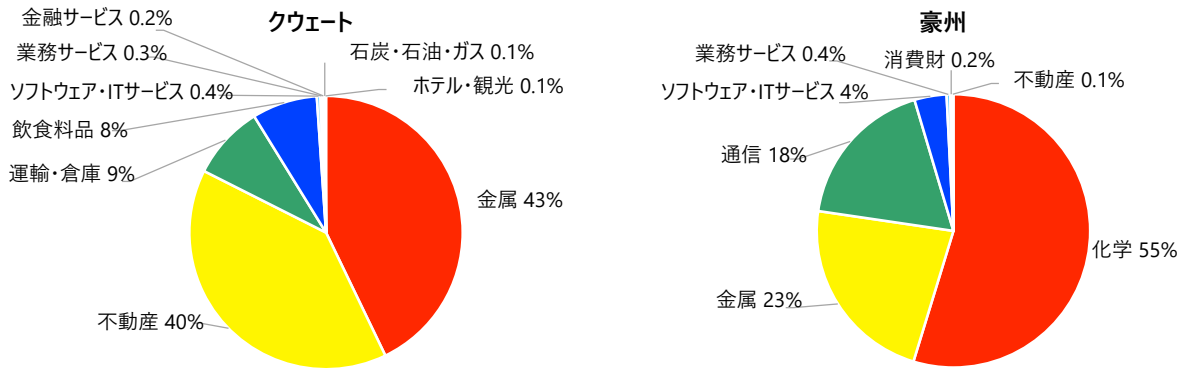
備考：円グラフは 2023～2025 年平均。2025 年は 1 月から 11 月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和 7 年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記のサウジアラビア対内 FDI 上位 10 か国について、国別にセクター内訳を見ると（第 1-3-5-10 図）、中国は自動車、金属、再生可能エネルギー、米国は通信、ソフトウェア・IT サービス、不動産を中心に投資している。このように、首位である中国については製造業セクターが多数を占めるが、次点の米国はサービスセクターが多数を占めていることが特徴である。UAE は再生可能エネルギーや通信の割合が多い。

第1-3-5-10 図 サウジアラビアの対内 FDI 上位 10 か国内訳





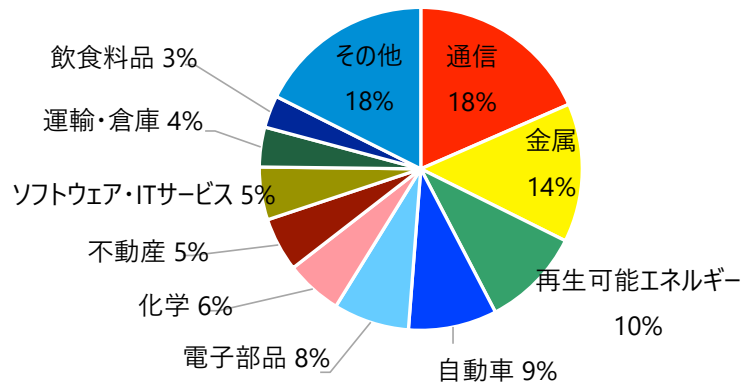
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータ。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

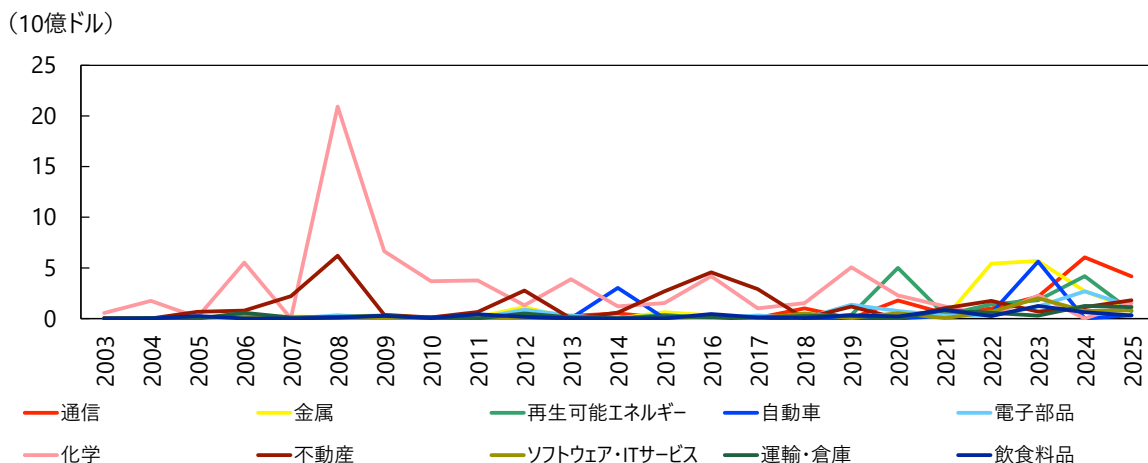
2023年～2025年平均でサウジアラビア向け FDI の上位 10 セクターについて見ると、1位：通信、2位：金属、3位：再生可能エネルギーの順に多い（第1-3-5-11図）。2008年の化学セクターの急増は米国の化学メーカーによるものである。

第1-3-5-11図 サウジアラビアの対内 FDI 上位 10 セクター

上位10セクター（2023-2025年平均）



2023-2025年平均における上位セクター時系列

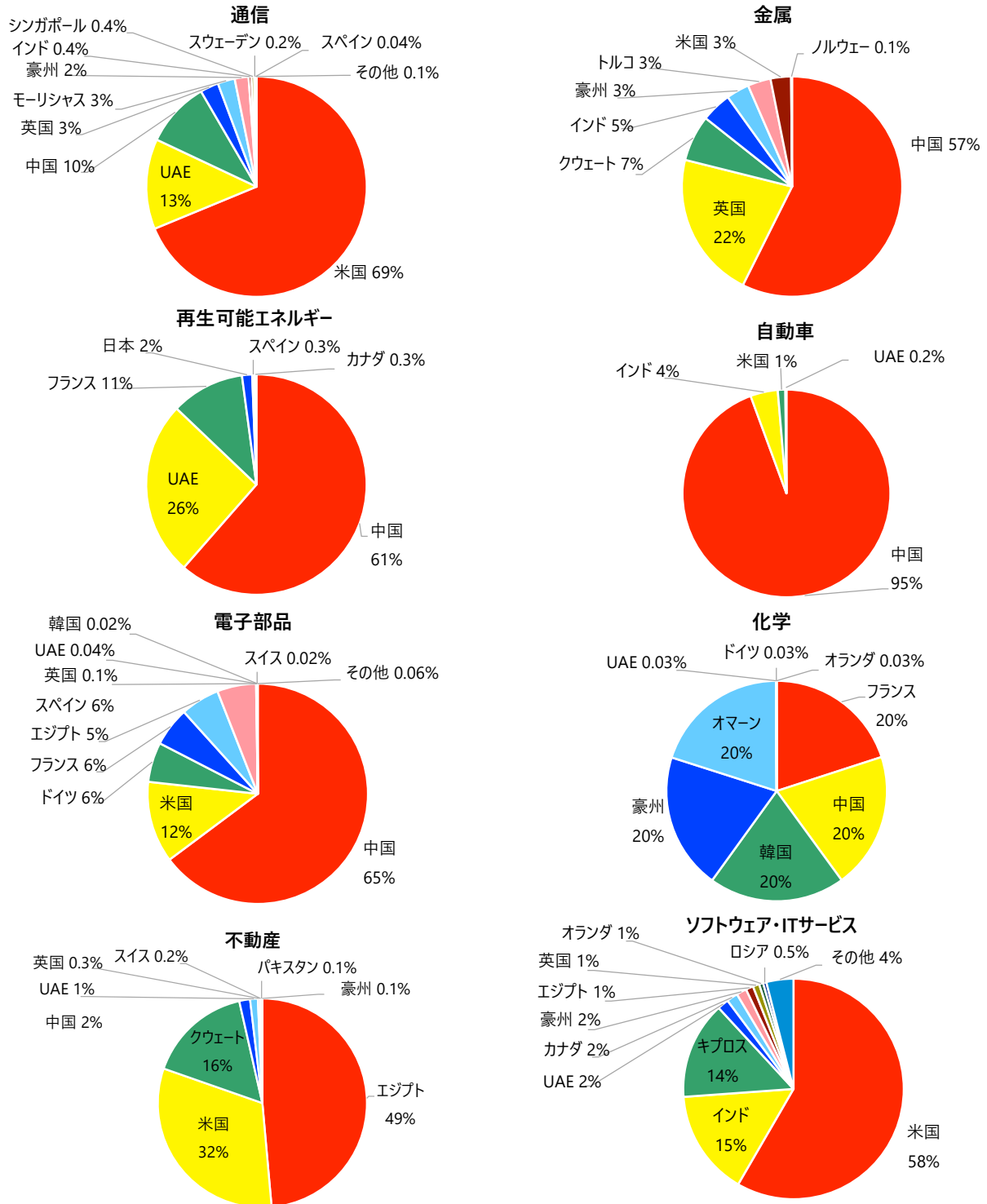


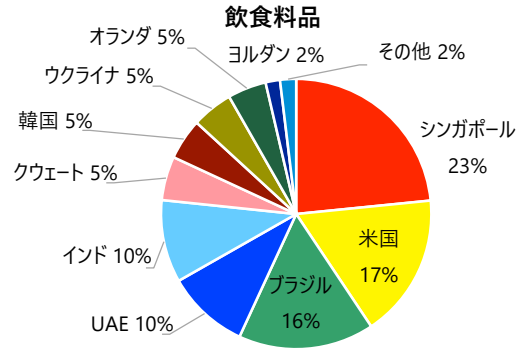
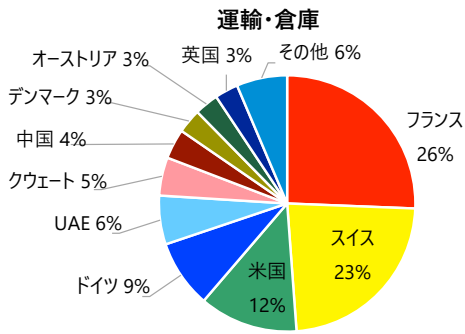
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記のサウジアラビア対内 FDI 上位 10 セクターについて、セクター別に投資国の内訳を見ると（第 1-3-5-12 図）、中国は、金属、再生可能エネルギー、自動車、電子部品セクターでのシェアが高い。他方、通信については、米国のシェアが高く約 7 割を占めている。

第 1-3-5-12 図 サウジアラビアの対内 FDI 上位 10 セクター内訳





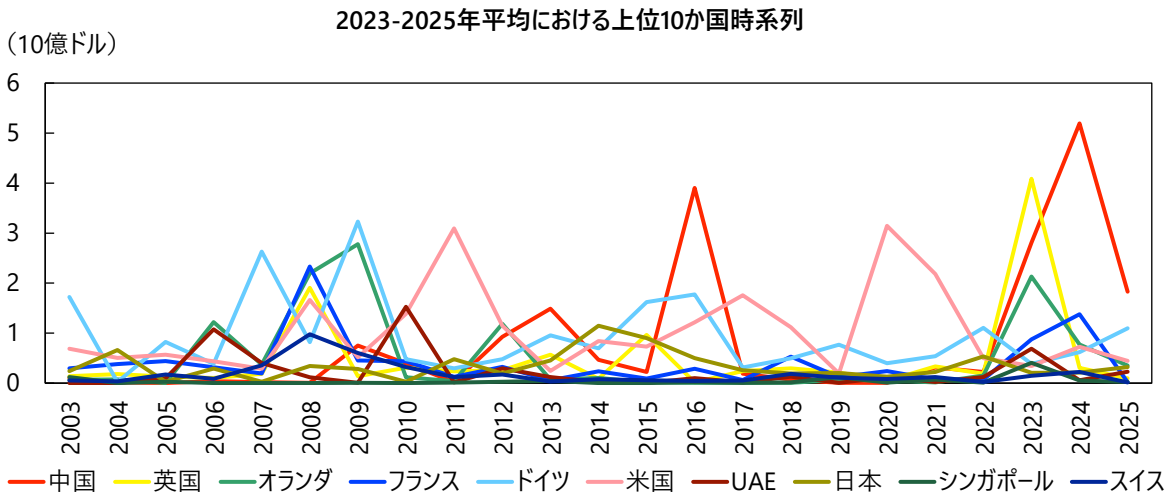
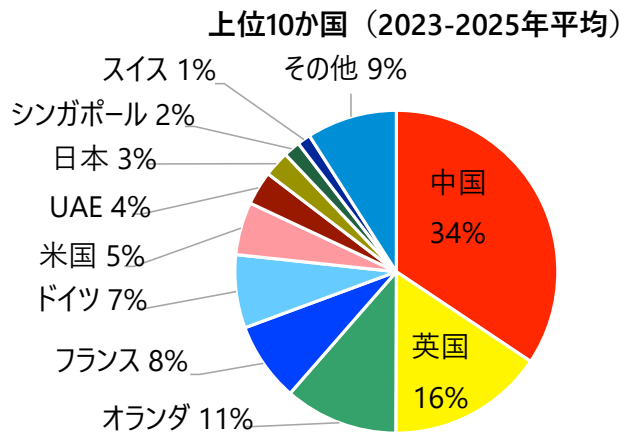
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。電子部品セクターにおいて、カタール、イタリア、クロアチアは韓国と同じ金額であったが、表記上その他に含む。また、運輸・倉庫セクターにおいても韓国は英国と同じ金額であったが、表記上その他に含む。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

(2) トルコ

2023年～2025年平均でトルコ向けFDIの上位10か国について見ると1位は中国、2位は英国、3位はオランダであった（第1-3-5-13図）。

第1-3-5-13図 トルコの対内FDI上位10か国

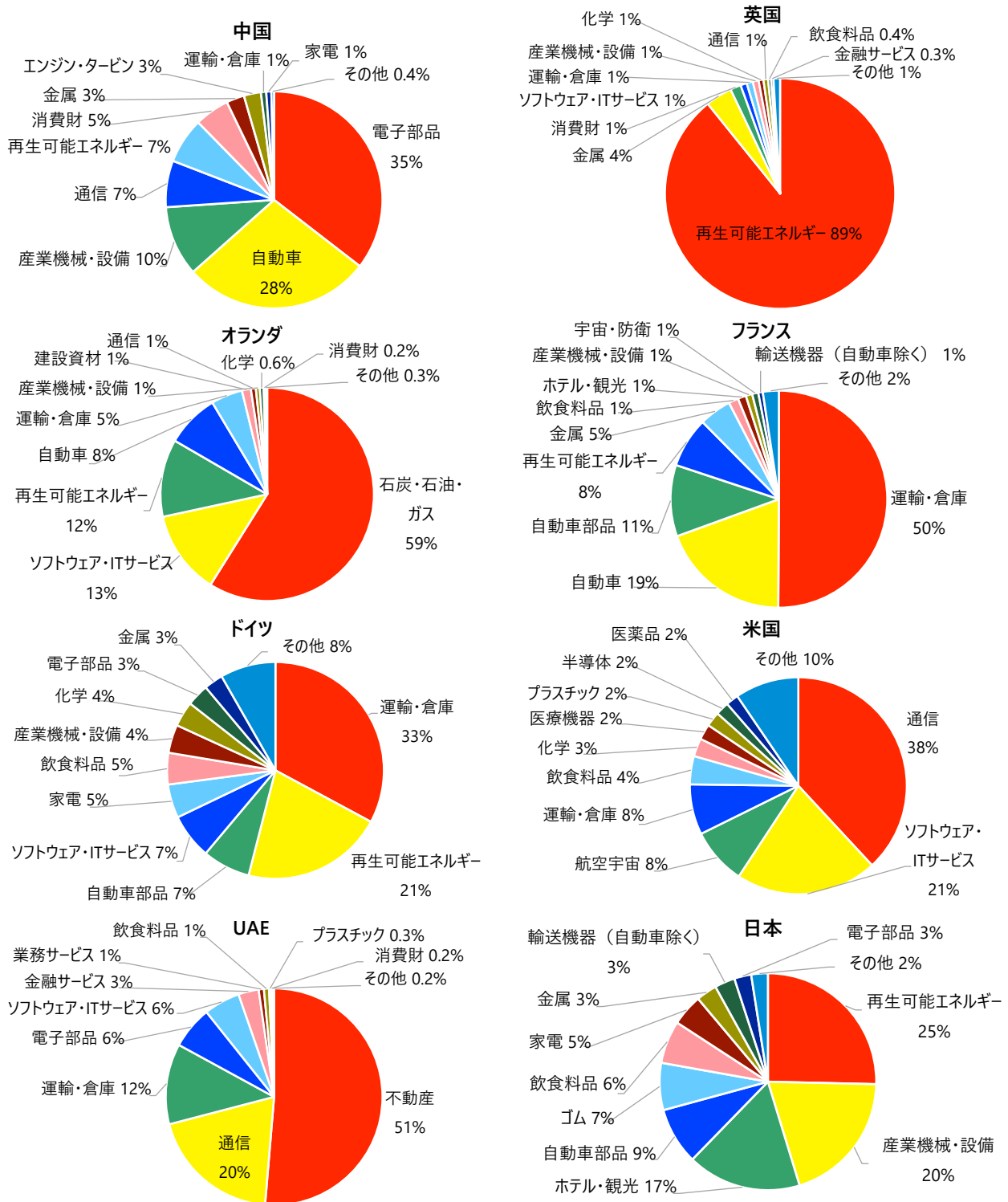


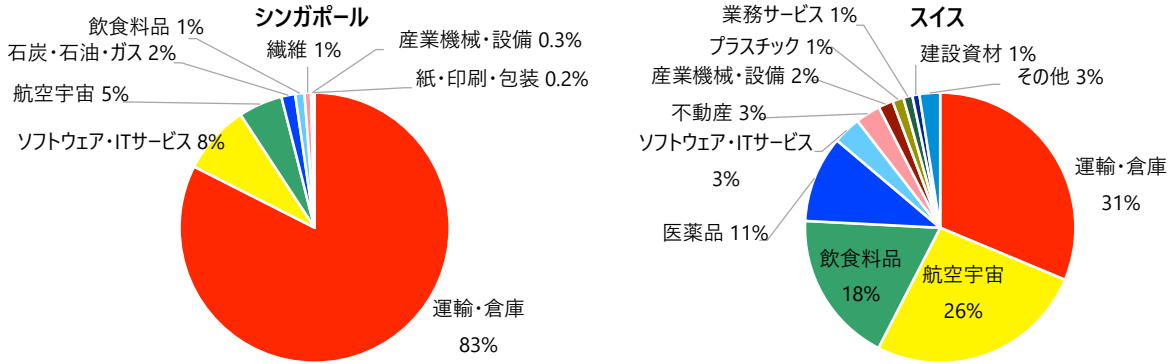
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記のトルコ対内 FDI 上位 10 か国について、国別にセクター内訳を見ると（第 1-3-5-14 図）、中国は電子部品、自動車、産業機械・設備と製造業セクターを中心に投資を行っていることが分かる。オランダは石炭・石油・ガス、ソフトウェア・IT サービス、再生可能エネルギーに投資をしている。英国は再生可能エネルギーの比率が大きく、約 9 割を占めている。

第 1-3-5-14 図 トルコ対内 FDI 上位 10 国内訳



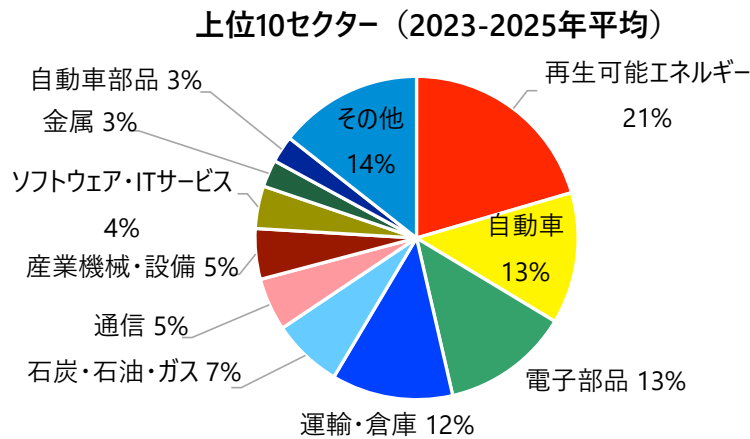


備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

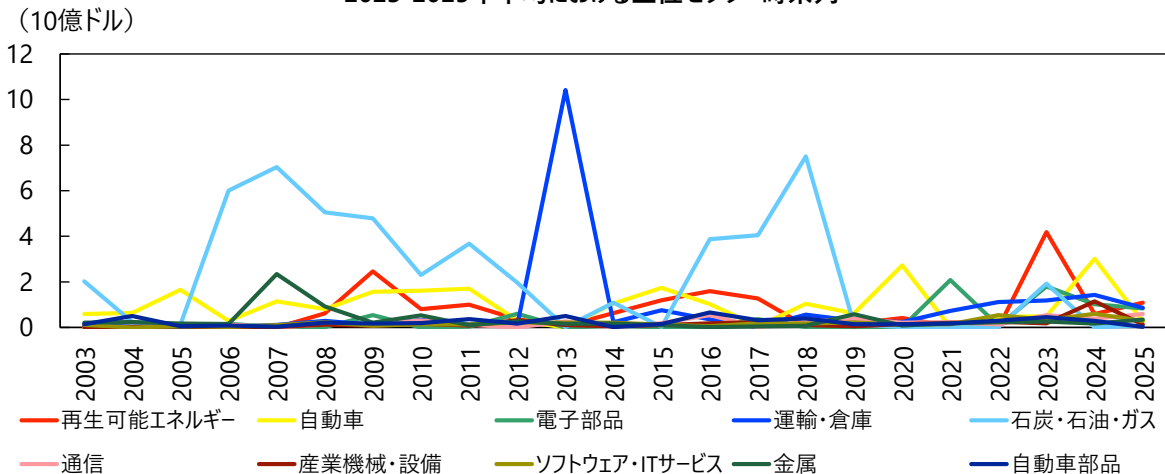
資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

2023年～2025年平均でトルコ向け FDI の上位 10 セクターについて見ると、1位は再生可能エネルギー、2位は自動車、3位は電子部品の順に多い（第1-3-5-15図）。

第1-3-5-15図 トルコの対内 FDI 上位 10 セクター



2023-2025年平均における上位セクター時系列



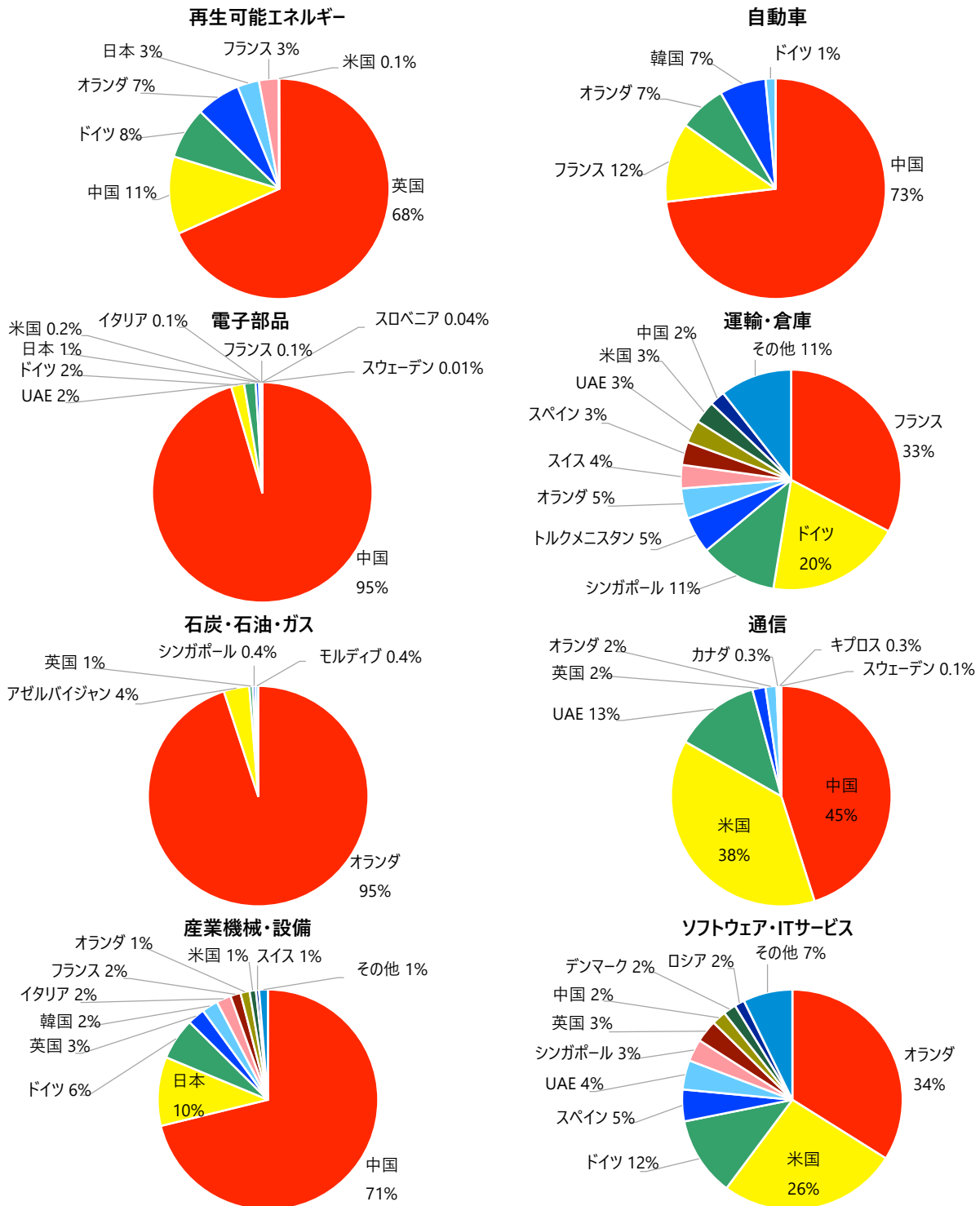
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

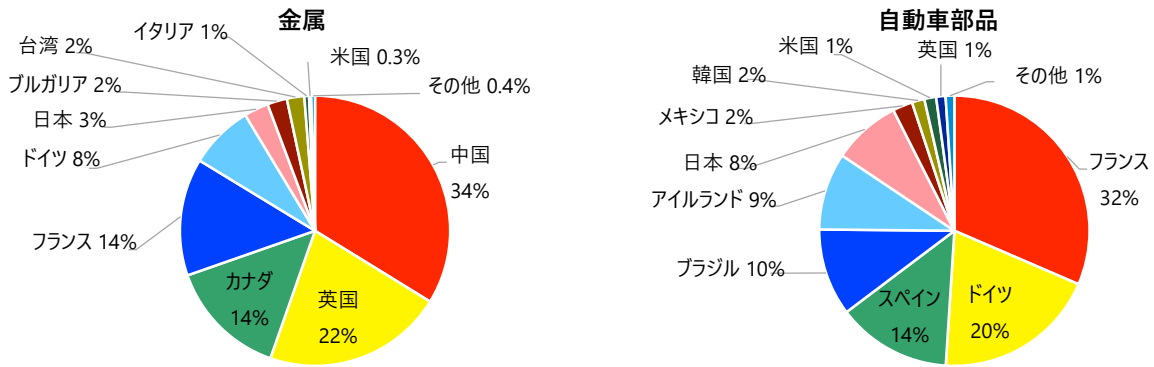
資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記のトルコ対内 FDI 上位 10 セクターについて、セクター別に投資国の内訳を見ると（第1-3-5-16図）、自動車、電子部品、通信、産業機械・設備、金属と上位 10 セクター中

5 セクターにおいて、全体のうち最も大きい割合を中国が占めている。再生可能エネルギーでは英国、石炭・石油・ガス、ソフトウェア・ITサービスセクターではオランダが最も投資をしている。

第1-3-5-16 図 トルコの対内 FDI 上位 10 セクター内訳





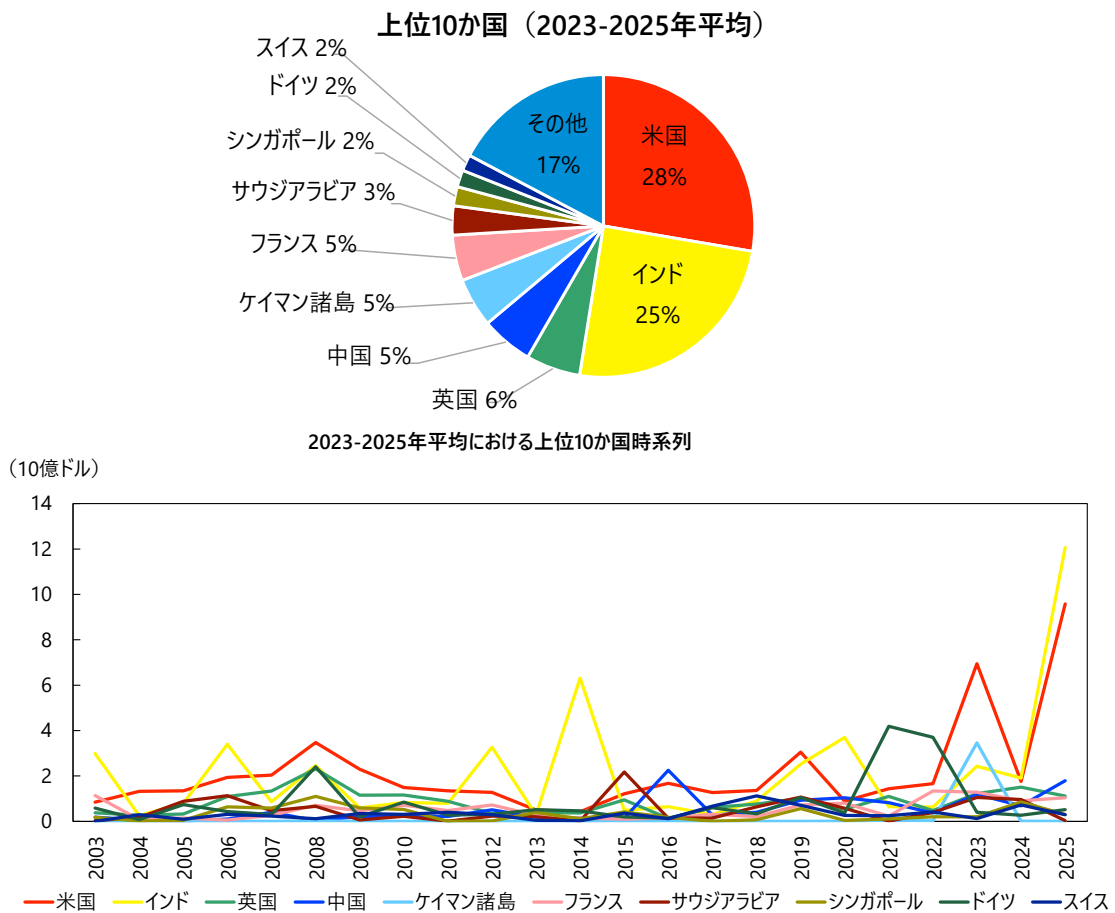
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。運輸・倉庫セクターにおいて、デンマークは中国と同じ金額であったが、表記上その他に含む。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

(3) UAE

2023年～2025年平均でUAE向けFDIの上位10か国について見ると1位は米国、2位はインド、3位は英国である。米国は、2025年に大手IT企業によるデータセンター投資が急増している（第1-3-5-17図）。

第1-3-5-17図 UAEの対内FDI上位10か国

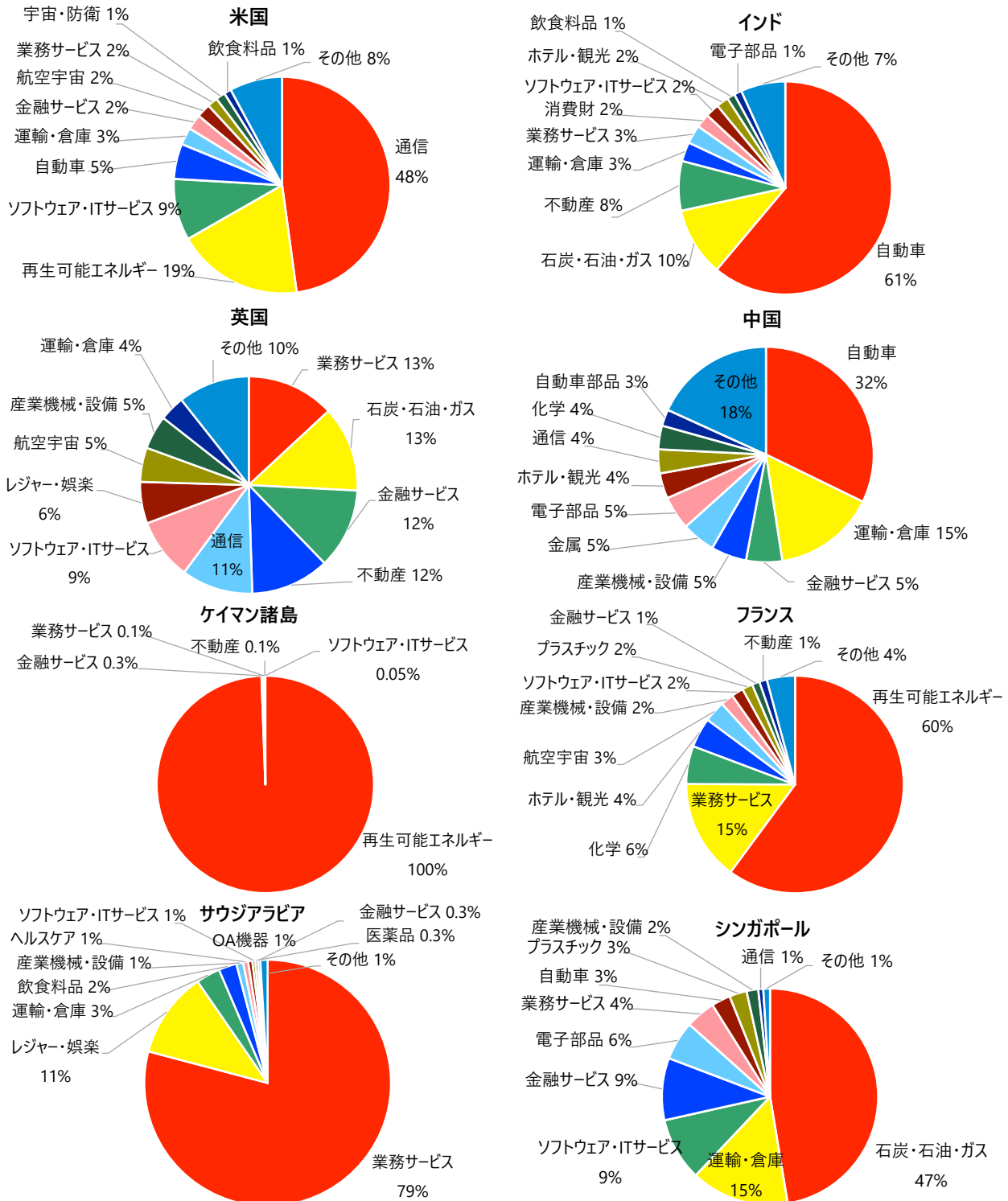


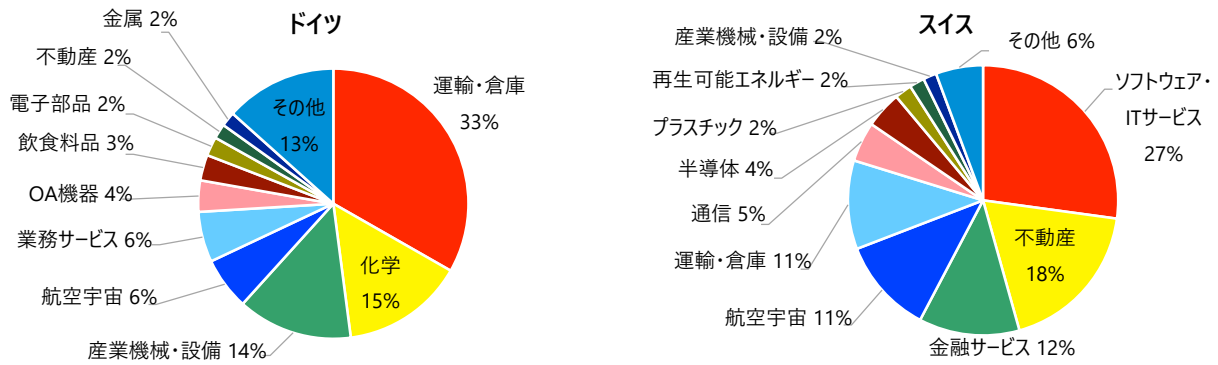
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記の UAE 対内 FDI 上位 10 か国について、国別にセクター内訳を見ると、米国は通信、インドは自動車それぞれ約半分以上を占めており、英国は各セクターに投資が分散されている（第 1-3-5-18 図）。

第 1-3-5-18 図 UAE の対内 FDI 上位 10 か国内訳





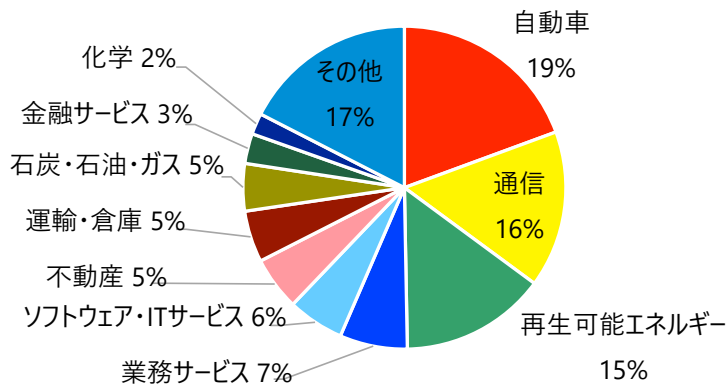
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

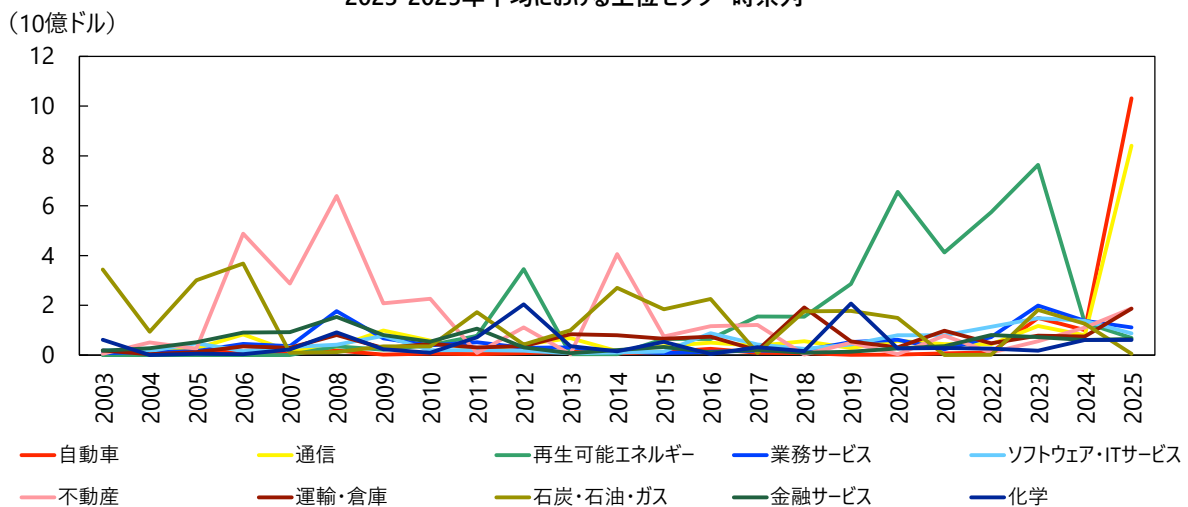
2023年～2025年平均でUAE向けFDIの上位10セクターについて見ると、1位は自動車、2位は通信、3位は再生可能エネルギーとなっている。再生可能エネルギーは2019年頃から継続的に投資がなされている（第1-3-5-19図）。

第1-3-5-19図 UAEの対内FDI上位10セクター

上位10セクター（2023-2025年平均）



2023-2025年平均における上位セクター時系列

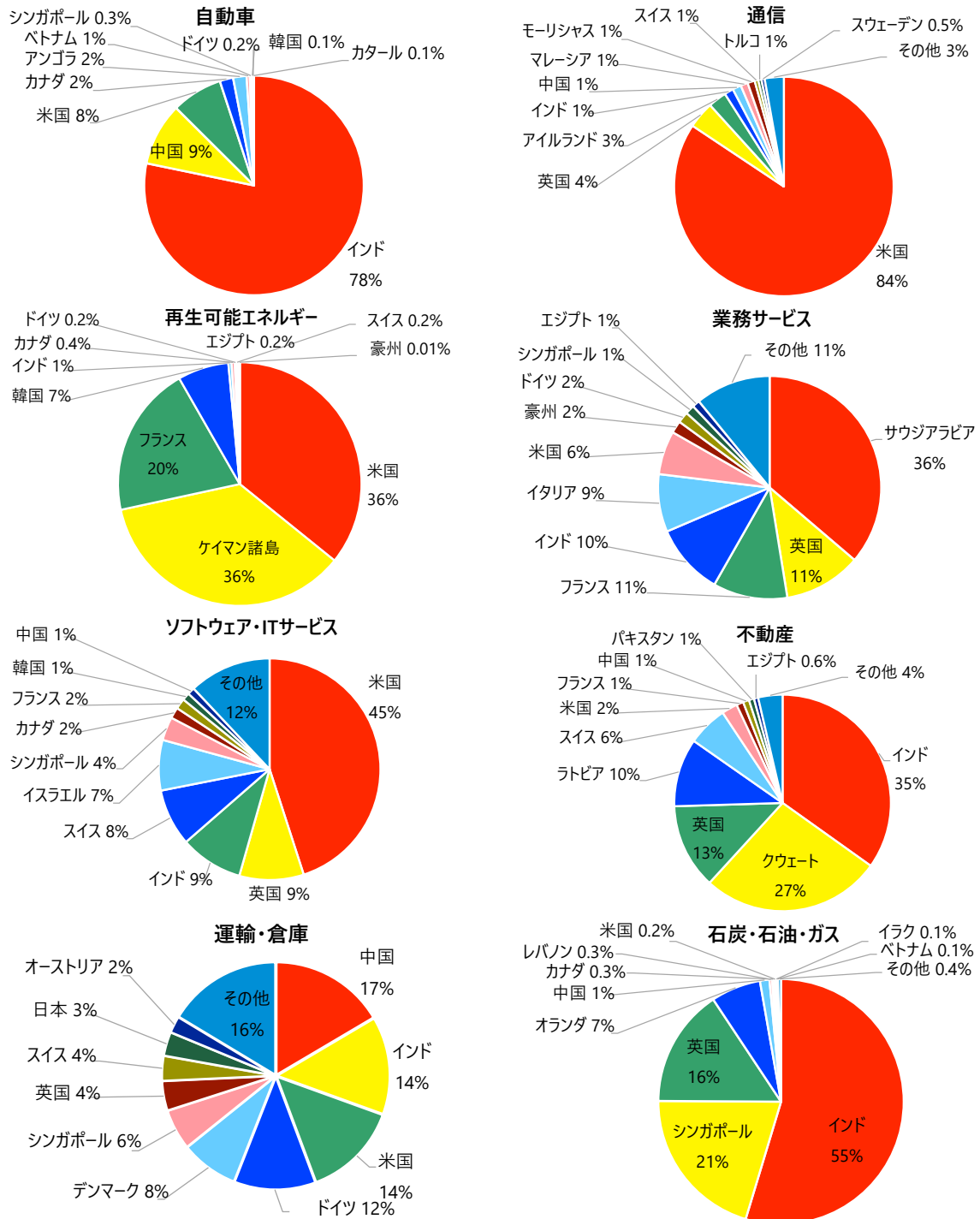


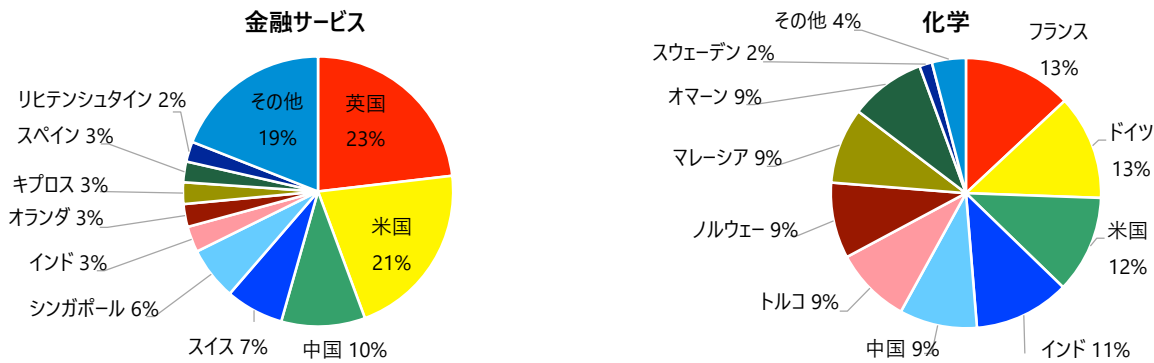
備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強靱化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

上記の UAE 対内 FDI 上位 10 セクターについて、セクター別に投資国の内訳を見ると（第 1-3-5-20 図）、自動車ではインド、通信では米国がそれぞれ 80% 近くを占めている。また、再生可能エネルギー、ソフトウェア・IT サービスでも米国のシェアが最も高い。不動産や石炭・石油・ガスではインドのシェアが最も高い。

第 1-3-5-20 図 UAE の対内 FDI 上位 10 セクター内訳





備考：円グラフは2023～2025年平均。2025年は1月から11月時点までのデータである。通信セクターにおいて、フィンランドはスウェーデンと同じ金額であったが、表記上その他に含む。

資料：Financial Times「fDi Markets」から合同会社デロイトトーマツ「令和7年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（サプライチェーンの強化及び国際競争力の強化に向けた調査研究）」作成。

6. FTA 協定

2020年以降の自由貿易協定等の状況を示したのが第1-3-5-21表である⁵⁵。中東ではUAEが他の主要国に比して協定数が突出して多い。UAEについて、最近の発効済協定を見ると、既に各節で紹介している協定を除くと、カンボジアとアラブ首長国連邦・カンボジア包括的経済連携協定を2024年1月に結んでいる。本協定により、関税の撤廃、非関税貿易障壁の削減、サービス・財の貿易及び投資の促進が期待される。カンボジアは穀物、果物、肉、加工食品、アパレル、履物、革製品など、UAEは機械、石油・潤滑油、自動車・自動車部品などの輸出増加が見込まれる。トルコは2023年9月にアラブ首長国連邦・トルコ包括的経済連携協定を発効している。これにより、トルコ・UAE間における非石油貿易は2023年時点の189億ドルから5年後には約2.1倍の400億ドルに達すると見られる。

第1-3-5-21表 中東の自由貿易協定等（2020年～）

国	No	名称	形態	経緯
サウジアラビア	1	GCC・ニュージーランド自由貿易協定	自由貿易協定	○2007年7月交渉開始 ○2009年10月交渉妥結、仮署名 ○2022年3月交渉再開 ○2024年10月交渉終了
	2	GCC・パキスタン自由貿易協定	自由貿易協定	○2006年交渉開始 ○2008年9月第2回交渉 ○2022年6月第3回交渉 ○2023年9月署名
	3	イスラム諸国会議機構特惠貿易制度(TPS-OIC)	特惠貿易協定	○2002年枠組み協定合意 ○2010年2月枠組み協定発効 ○2022年7月発効
トルコ	1	トルコ・カタール貿易経済連携協定	自由貿易協定	○2018年11月署名 ○2025年8月発効
	2	トルコ・ウクライナ自由貿易協定	自由貿易協定	○2006年交渉開始 ○2022年2月署名 ○2024年8月トルコ批准
	3	アラブ首長国連邦・トルコ包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年3月署名 ○2023年9月発効
	4	トルコ・ウズベキスタン特惠貿易協定	特惠貿易協定	○2022年3月署名 ○2023年7月発効
	5	パキスタン・トルコ特惠貿易協定	特惠貿易協定	○2022年8月署名 ○2023年5月発効
	6	イスラム諸国会議機構特惠貿易制度(TPS-OIC)	特惠貿易協定	○2002年枠組み協定合意 ○2010年2月枠組み協定発効 ○2022年7月発効
	7	アゼルバイジャン・トルコ特惠関税協定	特惠貿易協定	○2020年2月署名 ○2021年3月発効
	8	英国・トルコ自由貿易協定	自由貿易協定	○2020年12月署名 ○2021年1月発効
	9	トルコ・ベネズエラ自由貿易協定	自由貿易協定	○2018年5月署名 ○2020年8月発効

⁵⁵ JETRO、世界のFTAデータベース、<https://www.jetro.go.jp/theme/wto-fta/ftalist/>

国	No	名称	形態	経緯
アラブ首長国連邦	1	アラブ首長国連邦・豪州包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年12月交渉開始 ○2024年11月署名 ○2025年10月発効
	2	マレーシア・アラブ首長国連邦包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年5月交渉開始を決定 ○2025年1月署名 ○2025年10月発効
	3	アラブ首長国連邦・ニュージーランド包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2024年5月交渉開始 ○2024年9月交渉妥結 ○2025年1月署名 ○2025年8月発効
	4	アラブ首長国連邦・アンゴラ包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2025年8月署名
	5	アラブ首長国連邦・セルビア包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年9月交渉開始 ○2024年10月署名 ○2025年6月発効
	6	アラブ首長国連邦・ヨルダン包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2024年10月署名 ○2025年5月発効
	7	コスタリカ・アラブ首長国連邦包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年7月交渉開始 ○2024年4月署名 ○2025年4月発効
	8	アラブ首長国連邦・モーリシャス包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年8月交渉開始 ○2024年7月署名 ○2025年4月発効
	9	アラブ首長国連邦・コンゴ共和国包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年12月交渉妥結 ○2025年4月署名
	10	アラブ首長国連邦・中央アフリカ共和国包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2025年3月署名
	11	アラブ首長国連邦・ウクライナ包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2022年12月交渉開始 ○2024年4月交渉妥結 ○2025年2月署名
	12	アラブ首長国連邦・ケニア包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2024年2月交渉妥結 ○2025年1月署名
	13	アラブ首長国連邦・ベトナム包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年4月交渉開始 ○2024年10月署名
	14	GCC・ニュージーランド自由貿易協定	自由貿易協定	○2007年7月交渉開始 ○2009年10月交渉妥結、仮署名 ○2022年3月交渉再開 ○2024年10月交渉終了
	15	チリ・アラブ首長国連邦包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2022年2月交渉開始 ○2024年7月署名 ○2025年11月発効
	16	アラブ首長国連邦・ジョージア包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2021年12月交渉開始で合意 ○2022年9月第1回交渉 ○2022年12月第2回交渉 ○2023年3月交渉終了 ○2023年10月署名 ○2024年6月発効
	17	アラブ首長国連邦・韓国包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年9月交渉開始 ○2023年10月妥結 ○2024年5月署名
	18	コロンビア・アラブ首長国連邦包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2022年3月交渉開始 ○2024年4月署名
	19	アラブ首長国連邦・カンボジア包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年4月交渉終了、6月署名 ○2024年1月発効
	20	アラブ首長国連邦・インドネシア包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2021年9月交渉開始 ○2022年7月署名 ○2023年9月発効
	21	アラブ首長国連邦・トルコ包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2023年3月署名 ○2023年9月発効
	22	GCC・パキスタン自由貿易協定	自由貿易協定	○2006年交渉開始 ○2008年9月第2回交渉 ○2022年6月第3回交渉 ○2023年9月署名
	23	アラブ首長国連邦・イスラエル包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2021年6月交渉開始 ○2022年4月交渉合意 ○2022年5月署名 ○2023年4月発効
	24	イスラム諸国会議機構特惠貿易制度(TPS-OIC)	特惠貿易協定	○2002年枠組み協定合意 ○2010年2月枠組み協定発効 ○2022年7月発効
	25	アラブ首長国連邦・インド包括的経済連携協定	自由貿易協定	○2021年9月交渉開始 ○2022年2月署名 ○2022年5月発効
イラン	1	EAEU・イラン自由貿易協定	自由貿易協定	○2018年5月署名 ○2019年10月発効 ○2021年11月恒久化に関する交渉を開始 ○2023年12月恒久的な協定に署名 ○2025年5月恒久的な協定発効
	2	イスラム諸国会議機構特惠貿易制度(TPS-OIC)	特惠貿易協定	○2002年枠組み協定合意 ○2010年2月枠組み協定発効 ○2022年7月発効
イラク	-	なし		

備考：2026年4月取得データ。

資料：JETRO「世界のFTAデータベース」（2026年4月時点）から作成。